

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る  
市長メッセージ

市民の皆さん、秋田市長の穂積志です。

県内各地で、感染力が強いとされるオミクロン株の派生型「BA・5」への置き換わりが進み、新規感染者が急増していることを受け、先週22日、県は、独自の感染警戒レベルを「1」から「2」に引き上げました。

本市においても、7月に入ってから新規感染者は増加傾向となり、今週26日の公表で567人と過去最多を更新しました。今月の累計は昨日28日の公表時点で4,500人を超え、これまで月別で過去最多であった4月の4,124人を既に更新したほか、自宅療養者も1,840人と連日過去最多を更新しています。

これまでの傾向を見ますと、教育・保育施設や学校でクラスターが多発し、子どもから家庭、職場などへ感染が急速に広がっております。また、高齢者施設や病院でもクラスターが発生していることから、重症化しやすい高齢者の割合も高まっており、感染の連鎖が止まらない状況が続いています。

このため本市では、重症化しやすい高齢者や基礎疾患等を有する方を重点的に支援するほか、保健所業務のひっ迫を避けるため、応援職員を増員するなど、全庁体制で感染拡大防止に取り組んでいるところであります。

現在、病床使用率は30%台を保っておりますが、今後、旅行や帰省など人流が拡大する時期となり、病床使用率の上昇による医療提供体制への影響も懸念されます。

市民の皆様には、感染対策と経済活動を両立していくためにも、引き続き、正しいマスクの着用や手洗い・手指消毒、人混みを避けるなど、基本的な感染対策を徹底していただくようお願いいたします。

また、夏場の感染拡大の要因の一つとして、エアコンを使用することによって室内の換気が不十分になることがあげられます。エアコンを使っている場合、熱中症に注意しながらこまめに換気を行うようお願いいたします。

なお、医療機関の多くが休診するお盆期間中の対応について、本市では、陽性者の家族のうち発熱や咽頭痛等の症状がある方を対象に、抗原検査キットを無料配布いたします。期間は8月10日から15日までの6日間で、対象者は事前に申し込みの上、保健所においてドライブスルー方式での受け取りを予定しています。予約方法など詳細については、改めて秋田市ホームページ等でお知らせいたします。

次に、ワクチン接種についてであります。現在本市では、3回目の接種から5ヶ月を経過した60歳以上の高齢者や、18歳から59歳までの基礎疾患等を有する方を対象に、4回目の接種を進めているところであります。

また、新たに接種対象となった医療従事者や高齢者施設の従事者、消防職員など約1万5千人に対して、おととい27日から接種券の発送を開始いたしました。

さらに接種会場については、現在の西武秋田店の特設会場に加え、8月1日からは市内131医療機関でも開始いたします。

接種が進むことにより、感染者の減少や重症化の防止につながるものと考えておりますので、感染者の約6割を占める40歳未満の3回目接種も含め、希望者は接種券が届きましたら、早めに接種していただくようお願いいたします。

最後に、来月3日から始まる竿燈まつりについてであります。県内の感染拡大を受け、竿燈演技者の健康管理期間を開催1週間前から2週間前に前倒ししたほか、熱中症のリスクがある演技中以外はマスクの着用を求めるなど、さらなる感染防止対策を講じて、より安全に開催できるよう準備を進めております。

ご来場の皆様には、適切にマスクを着用の上、「どっこいしょ」のかけ声は行わず、スピーカーから流れるかけ声に合わせて手拍子をするなど、3年ぶりの竿燈まつりを楽しんでいただきたいと思います。

令和4年7月29日 秋田市長 穂積 志